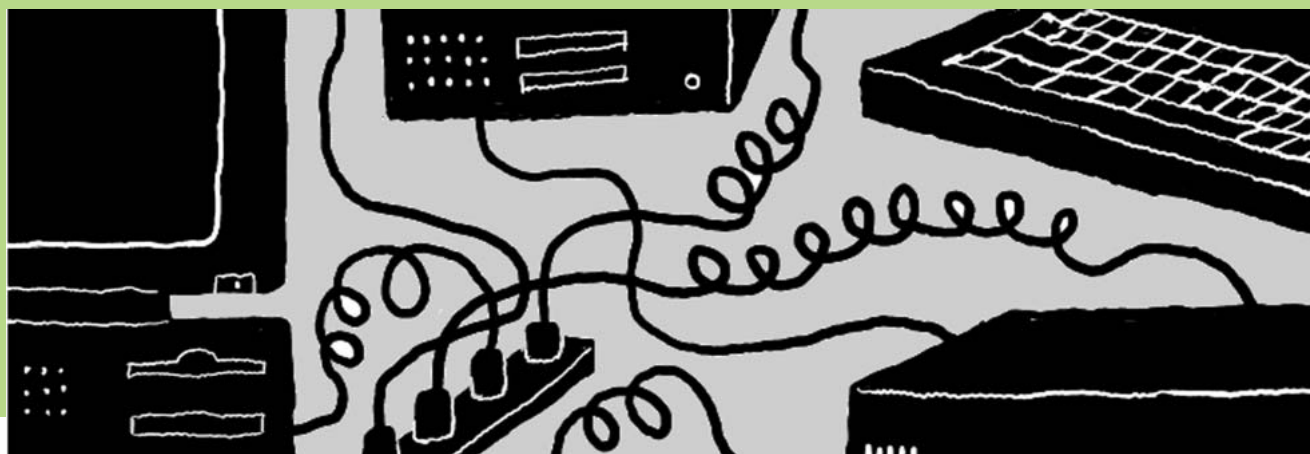




特集 1

フレッツ・ISDN、CATV、ADSL 完全対応

無線で始める





部屋のレイアウト替えをしたいのに、パソコンはいつも同じ場所。せっかくパソコンを数台持っているのに、台数分のケーブルを引き回すのが面倒…。それらの前に大きく立ちはだかる「有線の壁」がいま崩壊する。IEEE802.11bの登場で各社が一斉に発売し、量販店でも気軽に買えるようになった無線LAN製品。しかもアクセスポイントはルーターの値段に肉薄といいことづくめ。身近になった無線、さあ始めよう！

大澤文孝 + 江戸川 (255ページ) + 編集部

illustration : Hasegawa Takako

ホームLAN



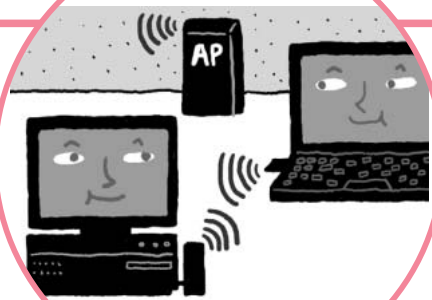
パソコン
1台からでも

すぐに始める 無線LAN

LANというとオフィスや学校だけで使うものという大きなイメージもあるが、実際にはそうではない。とくに無線LANの場合には、配線することなくインターネットに接続できるため、たとえ1台のパソコンを無線化するだけでも、さまざまなメリットが得られるのだ。

どこでも自由にインターネット

無線LANを導入すると、配線に縛られない。家中にLANの配線を引き回すことなく、どこにいてもインターネットを楽しめる。ノートパソコンなら、インターネットに接続したままで部屋を動き回れるのだ。配線に縛られる生活なんて、もう古い！



デスクトップPCでもノートPCでもOK

無線LANはデスクトップパソコンでもノートパソコンでも接続できる。そのため、たとえば家の1階にデスクトップパソコンがあり、2階にノートパソコンがあるといった環境でも、無線LANにすれば、1階と2階との間にLANケーブルを這わすことなく、互いに通信ができる。また、1階に電話のモジュージャックがあるような場合、1階に無線のアクセスポイント（基地局）を置けば、ワイヤレスで2階にあるパソコンからでもインターネットが楽しめる。

IEEE802.11bで拡張も簡単

最近の無線LANは、「IEEE802.11b」（255ページ参照）という規格で統一されている。そのため、IEEE802.11bに対応している無線LAN製品であれば、基本的に製品やメーカーを問わずに利用できる。

つまり、アクセスポイントはA社のもの、パソコン側の拡張カードはB社のものといったように組み合わせて利用できるため、将来的な拡張も簡単だ。



ウィンドウズもマッキントッシュもラクラク接続

IEEE802.11bにさえ対応していれば、機種ばかりかOSも問わず、互いに接続できる。つまり、OS固有の設定の煩わしさがなく、ウィンドウズとマッキントッシュとを気軽に混在させて利用できるのだ。

ピッタリな無線APを探そう

アクセスポイント

回線の種類に合わせて選べば間違いない!

この記事では、メルコの「AirStation」シリーズを例に、無線LANの作り方を紹介していく。AirStationは、ISDNやCATVなどの自分が使う回線に合わせたモデルを選ぶことができる。

たとえば、ISDNユーザーなら「ISDNモデル」を購入すればいい。すでにダイヤルアップルーターを持っているなら、接続するだけで無線化でき、「ISDNモデル」と同等の機能になる「標準モデル」を購入しよう。CATVの場合は「CATV/xDSLモデル」を購入しよう。IPルーター機能を内蔵しているの、パソコンの複数台接続もOKだ。ただし、IPルーターの使用は契約によって禁止されているCATV局もある。「標準モデル」を使えば大丈夫な場合もあるが、無線LANは利用できないCATV局もある。メルコのウェブサイトではCATV局ごとに対応状況を公開しているので、購入前にはこれを必ず参照しよう。

ADSLユーザーの場合には、ADSLモデムにルーター機能があれば「標準モデル」、そうでなければ「CATV/xDSLモデル」だ。このほか、アナログ回線用にモデム内蔵のアクセスポイントも用意されている。右のリストで、あなたにぴったりの1台を見つけてほしい。

つい先日まで、無線LANのアクセスポイントは一人で使うには高価な機器だったが、最近はインターネットへの接続を前提にしたダイヤルアップルーター機能を持った安価な製品が続々と登場している。この記事では、ISDNだけでなく、ADSL、CATVインターネットのユーザーにも利用できるアクセスポイントをタイプ別に紹介しよう。

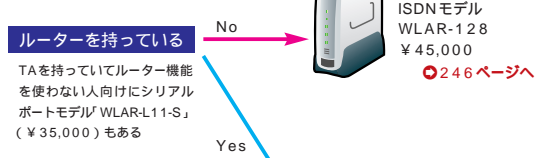
広い部屋で電波が届きにくいなら複数のアクセスポイントでローミング接続

オフィスなどのフロアが2階にまたがる場所や広いスペースで無線LANを使うときは、複数のアクセスポイントが必要になる。このとき、機種によっては無線LANカードを接続したパソコンを持ってフロア内を移動しても、その途中で切断することなく、別のアクセスポイントに自動接続できる。これを「ローミング機能」という。

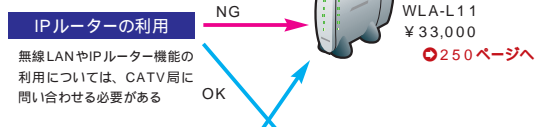
ローミング機能に対応しているアクセスポイントは、一定時間ごとにネットワークの混み具合をパソコン側に送信する。そしてパソコン側では、より電波状況がよく、混雑していないアクセスポイントにデータを送信する。このため、一定の距離間隔でアクセスポイントを複数配置すれば、無線LANの利用範囲を広げることができる。ただし、アクセスポイント同士は有線のLAN接続になる。



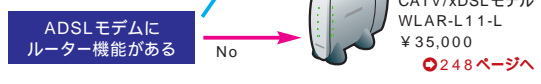
ISDNユーザー



CATVユーザー



ADSLユーザー



アナログユーザー



参考)メルコ AirStationのウェブサイト
www.airstation.com

【製品情報】このほかにも、11Mbps無線LANシステムは数多く発売されている。詳しくは300ページの「Product Showcase」へ

プラス1万円で無線LANが手に入る!!

【初期コストの料金比較】ノートパソコン1台をISDN回線で利用する場合と比べて、有線と無線の差額は約1万円。この程度の違いなら、快適さから言って無線LANのほうがおすすめだ。

価格調査店:ヨドバシカメラ(ECサイトの表示価格)
www.yodobashi.co.jp

	有線	無線
ルーター	¥34,800 (NTT-ME「MN128 SOHO PAL」)	アクセスポイントと無線LANカードのセット ¥49,800 (メルコ「AirStation ISDNセットモデル WLS-128S」) イーサネットハブ4ポート搭載。MACアドレスの制限が256台で、快適に動作するには10~15台がベスト。 差額: ¥10,340
LANカード (PCMCIAタイプ)	¥3,700 (I/Oデータ機器「PCET/TX-R」)	
LANケーブル (10m)	¥960 (エレコム「LD-CT/BU10」)	
Total	¥39,460 イーサネットハブ4ポートで最大4台を接続できる。それ以上の場合、別途ハブを購入する。	

ただ置けば
いいわけじゃない

設置場所が鍵になる！

無線LANで気になるのは、電波の届き具合だ。できるだけ広い範囲、部屋のどこからでもインターネットにアクセスしたい。有線のように、ただ置けばいいだけじゃない、無線ならではの、「どこからでもつながる知恵」をここで伝授しよう。

部屋の中心が基本

無線LANのアクセスポイントは、CATVインターネットの利用者ならケーブルモデムのそば、ISDNユーザーなら電話のモジュラーのそばに設置することが多いだろう。その際、床や机の上に置いてもいいが、アクセスポイントをできるだけ高い位置に置いたほうが、より電波の届く範囲が広がる。また、部屋の隅では、1フロアにいくつも部屋がある場合に障害となる壁や扉が何重にも遮るため、アクセスポイントと離れた場所では十分な能力を発揮できない。このため、できるだけフロアの中央に設置して電波が届きやすくなる工夫をしよう。

IEEE802.11bの無線LANは2.4GHzの帯域を使う。この「無線」の苦手なものをチェックしてみると……

「無線」の得意・不得意

- ・ガラス戸、ガラス窓
- ・木材
- ・パーティション
- ・鉄板 ×
- ・鉄筋コンクリート
- ・断熱材
- ・電子レンジ ×

(2.4GHzの使用帯域が同じため)

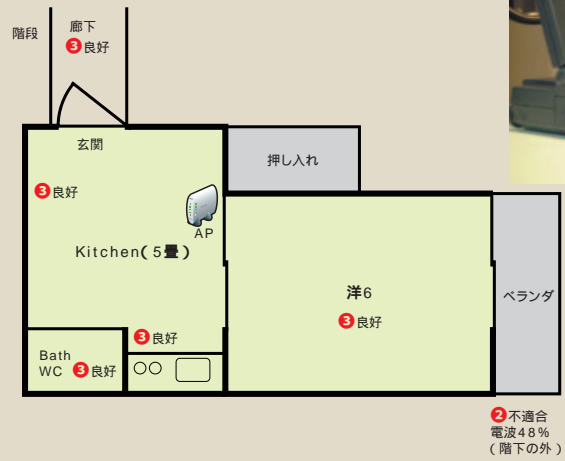
電波能力をより向上させる方法として、メルコAirStationでは外部アンテナをオプションで発売している。この外部アンテナはアクセスポイント側だけでなく、パソコン(クライアント)側にも取り付けられる。「ダイバーシティーアンテナ」搭載で電波の届く距離が2倍以上になり、通信状態も安定する。

AirStation用
オプションアンテナ
WLE-DA 8,800円



1 マンション(鉄筋 1Kタイプ)

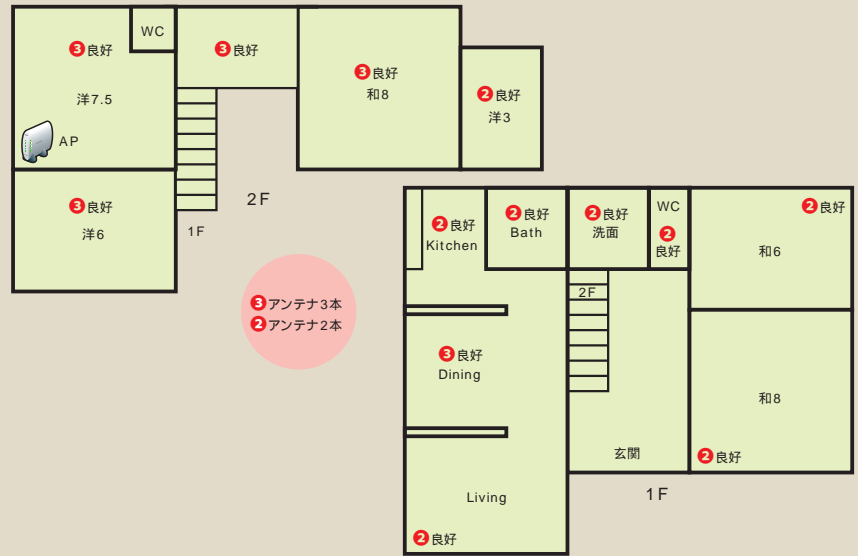
部屋の中心部にアクセスポイントを設置したところ、部屋のどこでもアンテナが3本立ち、接続状態が「良好」と出た。戸を閉めた状態でもそれは変わらず。玄関を出て、マンションの廊下でテストしたときは電波状態が75%くらいになったが、アンテナ3本は変わらない。そのまま外の階段を下りていくと、しだいに電波状態が悪くなるのは一目瞭然だった。ちなみに、部屋は2階で、外に出てちょうどベランダ下まで行ってテストを行うと、アンテナ2本で電波状態が48%となり、「不適合」と表示された。



3 アンテナ3本
2 アンテナ2本

2 一戸建て(木造 2階建築)

2階の角部屋にアクセスポイントを設置した。同じフロア内だとほぼアンテナ3本が表示された。階下に移動したところ、アンテナ2本になったが、接続状態はすべて「良好」という結果になった。アクセスポイントを設置した場所が2階の床ということもあり、先に説明した、アクセスポイントは高いところに設置するのが有利ということからも、1階よりも2階に設置したほうが電波が届きやすいようだ。また、木造建築であれば、フロアをまたいで部屋のすべてをカバーできるという点もわかった。



接続状態と電波状態はメルコの「クライアントマネージャ」で診断したもの。結果を総合的に判断して「良好」(問題なし)と「不適合」(不安定な状態)が表示される。

我が家も無線化できる？ 不安解消 TIPS

購入して家に持ち帰って、本当に自宅で無線システムが使えるだろうか...。使えなかったら返品できるか気になるだろう。そこで、大手量販店数社に返品に関する対応を問い合わせしてみた。

コンプマート名古屋店では、以前、メルコのAirStationについては、使えなかった場合に返品できるとしていたという。しかし、実際には返品はほとんどなく、家庭で使うぶんには問題ないということらしい。現在は、外部アンテナも用意されているので、さらに「つながらない」という苦情はない。ECサイトではどうだろう。同じくコンプマートのオンラインショップに問い合わせると、ウェブサイトの返品注意書きにも掲載されているように、開封したものはいずれにしても返品できない。さらに、ソフマップやツクモでは、ウェブの注意書きが細かく、機器の相性によるところでも一度開梱したものは返品できない。ヨドバシカメラパーソナルストアの伊藤さんによると、基本的には返品できないが、その状況をメールか電話で通知して相談すれば初期不良扱いになることもあるようだ。

店頭で購入しても、インターネットを使って、積極的に相談して「ダメもと」で判断を仰ぐといいだろう。

全ユーザー対象
各モデル共通設定

30分でOK!
ワイヤレスのセットアップ

STEP

- 無線LANカードの設定
無線LANカードを装着し、デバイスドライバをインストールする。
- エアステーションマネージャのインストール
アクセスポイントの設定とアクセスポイントを通じて通信するためのソフトである「エアステーションマネージャ」をインストールする。
- TCP/IPプロトコルの確認
インターネットでの通信に不可欠なTCP/IPプロトコルがインストールされているかどうかを確認し、見つからなければインストールする。

今回の記事では、無線LAN製品としてメルコの「AirStation」を用いる。AirStationにはさまざまなモデルが用意されているが、その基本設定は変わらない。ここではまず、AirStationの全機種に共通となる基本的なセットアップについて説明する。ここでの設定を終わらせてから、246ページから251ページまでの各モデルの設定に移ろう。

1 無線LANカードの設定

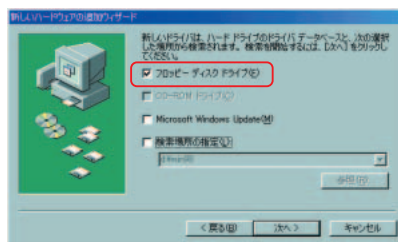
まず最初に無線LANカードを挿入し、デバイスドライバをインストールして、無線LANカードをパソコンに認識させよう。



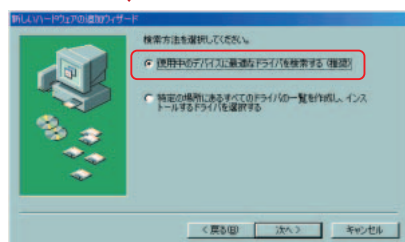
① 無線LANカードをパソコンのPCカード



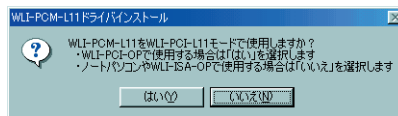
② 無線LANカードが認識され、デバイスドライバのインストールが



④ 製品に添付の「WLI-PCM-L11 Driver Disk」をフロッピーディスクドライブに挿入したのち、「フロッピーディスクドライブ」



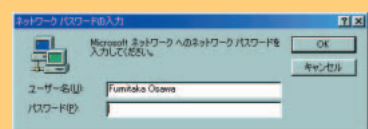
③ 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」を押す。



⑤ 途中、無線LANカードの種類を聞かれるので、デスクトップパソコンに拡張PCIカード(WLI-PCI-OP)を装着して接続した場合には「はい」を、そうでなければ「いいえ」を押す。あとは各画面で「次へ」を押せばOKだ。

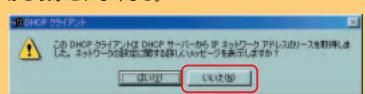
再起動後にパスワードを求められる

環境によっては、再起動後、下のようにパスワードを求められることがある。この場合には、普段使っているパスワードを入力して「OK」を押す。パスワードを設定していない場合には、パスワード欄は空欄のまま「OK」を押す。



IPアドレスが取得できない?

再起動後、下のようなメッセージが表示されることがあるが、その場合には、「いいえ」を押せば、次回から表示されなくなる。



2 エアステーションマネージャのインストール

アクセスポイントや無線LANカードの通信方法を設定するソフト「エアステーションマネージャ」をインストールしよう。エアステーションマネージャは、アクセスポイントに付属するCD-ROMに収録されている。

1 アクセスポイントに付属の「AIRCONNECTシリーズドライブCD」をCD-ROMドライブに挿入する。

2 メニューが表示されるので、「エアステーションマネージャのインストール」を選択して「次へ」を押す。

3 別のアプリケーションが起動しているのであれば、すべて終了させてから、「OK」を押す。何のアプリケーションも起動していないのであれば、そのまま「OK」を押せばいい。

4 インストーラーが起動するので、「次へ」を押す。あとは「次へ」を押して進める。

他のアプリケーションの終了
他に起動しているアプリケーションがありましたら、「ALT+TAB」キーで切り替えて終了することをおすすめします。

インストールの準備
このためほかの製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
このインストールが完了したら、あなたのコンピュータの作業のお手伝いいたします。

更新日時: 00/10/13 14:42
サイズ: 31.6KB
Readme Rebooter
Wleasy Wleasy

CD-ROMを挿入してもメニューが表示されないときは、CD-ROMに含まれる「wleasy.exe」をダブルクリックする。

3 TCP/IP プロトコルの確認

無線LANカードで通信するためには、「TCP/IP プロトコル」が必要となる。すでにインターネットを使っている場合には、TCP/IP プロトコルがインストールされている。しかし、そうでない場合には手でインストールしよう。

1 コントロールパネルで「ネットワーク」のアイコンをダブルクリックする。

2 「ネットワークの設定」ページで「現在のネットワークコンポーネント」の中に「TCP/IP -> MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」があればOKなので、「キャンセル」を押して終了。なかった場合には「追加」を押す。

3 「プロトコル」を選択して、「追加」を押す。「製造元」で「Microsoft」を、「ネットワークプロトコル」で「TCP/IP」をそれぞれ選択し「OK」を押す。②の画面に戻るので「OK」を押すと、プロトコルのインストールが始まる。インストール終了後、パソコンを再起動すれば完了だ。

ネットワークコンポーネントの選択
インストールするネットワークコンポーネント
クライアント
アダプタ
プロトコル
サービス

ネットワークプロトコルの確認
インストールするネットワークプロトコルをクリックして、[OK] をクリックしてください。このデバイスのインストール ディスクがある場合は、[ディスクの使用] をクリックしてください。

製造元(製): Microsoft
ネットワーク プロトコル:
TCP/IP
Microsoft 互換プロトコル
Microsoft 互換プロトコル
NetBEUI
TCP/IP
高速外部接続プロトコル

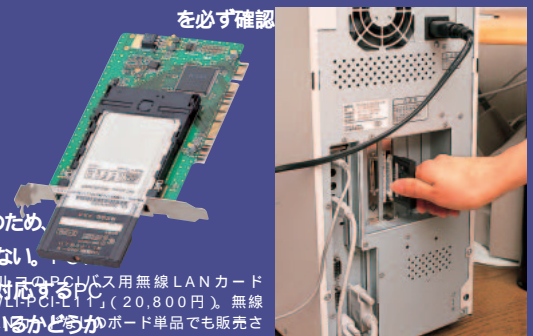
デスクトップパソコンの場合

デスクトップパソコンの場合には、無線LANカードを接続するためのアダプターカードをパソコンの拡張スロットに接続して利用する。この場合、アダプターカードのデバイスドライバをインストールするという手順が1つ加わるが、基本的な工程はノートパソコンの場合と変わらない。

また、デスクトップパソコンでもPCカード

スロットが搭載されている機種であれば、そのまま無線LANカードを装着して利用できる。なお、市販の安価なPCカードリーダーの多くはデジタルメモリーカード専用のため、LANカードを挿しても利用できない。

PCカードリーダーを購入する際は、必ず確認を必ず確認
デスクトップパソコン用無線LANカード WLI-PCM-L11 (20,800円)。無線カードにLANカードが含まれているかどうかボード単品でも販売されている。(「WLI-PCI-OP」6,300円)



ISDNユーザーの場合 ISDNモデル



AirStation (ISDNモデル)
WLAR-128

ISDN でもこれから買うなら ワイヤレスルーター

ISDNのダイヤルアップルーターと無線LANが1つになったのが、メルコのAirStationの「ISDNモデル」だ。これ1台あれば、電話回線に接続するだけで無線LAN経由でインターネットに接続できるようになる。設定も簡単で、配線してからプロバイダーの設定をするだけですぐ使える。

1 アクセスポイントの配線

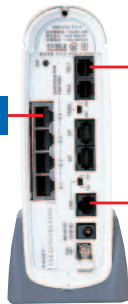
BEFORE



AFTER



「ISDNモデル」の背面には、ISDN回線や電話機を接続する端子があるので、まずそれらを接続する。



有線LANはここに接続

電話機を接続

NTTへの電話線を接続

アクセスポイントの頭の部分はスライドして、はずれるようになっている。ここにはアクセスポイントに必要な「MACアドレス」のシールが貼ってある。MACアドレスは、以降の設定に必要となるのでメモしておこう。



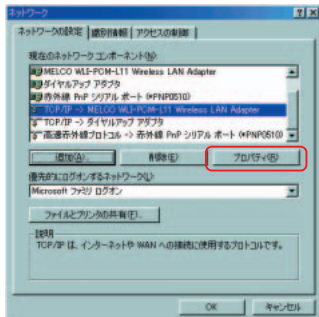
MACアドレス

004026 950715

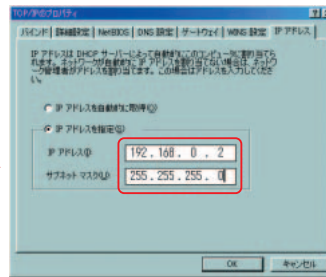
2 パソコンのIPアドレスの仮設定

アクセスポイントの初期設定をパソコンから行うために、アクセスポイントとパソコンのIPアドレスを一時的に特定の値に固定する必要がある。ここでは、アクセスポイントを「192.168.0.1」、パソコンを「192.168.0.2」

というIPアドレスに設定する例を紹介する。ほとんどの場合にはこの設定で問題ないが、すでに有線LANを構築している環境では、他の機器が使用していないIPアドレスを使うようにする。



① コントロールパネルから「ネットワーク」のアイコンをダブルクリックして、「TCP/IP->MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」を選択して「プロパティ」を押す。



② 「IPアドレスを指定」を選択し、「IPアドレス」に「192.168.0.2」を、「サブネットマスク」に「255.255.255.0」を入力し「OK」を押す。

STEP 1 アクセスポイントの配線

アクセスポイントに電話回線を接続。MACアドレスも確認しておく。

② パソコンのIPアドレスの仮設定

無線LANカードをインストールしたパソコンのIPアドレスを設定する。アクセスポイントの設定はこのパソコンから行う。

③ アクセスポイントの設定

アクセスポイント本体のIPアドレス、接続先となるプロバイダーのアカウント情報などを設定する。

④ パソコンのIPアドレスの本設定

アクセスポイントを通じてインターネットに接続できるように、パソコンの設定を変更する。

3

アクセスポイントの設定

アクセスポイントのIPアドレスを設定する。IPアドレスを変更するには、先にインストールしておいた「エアステーションマネージャ」を用いる（245ページ参照）。ここでは無線LANから設定する方法を説明するが、それ以外にも有線LANや接続した電話機から設定することもできる。

もうケーブルは引っ掛けない
練馬区の伊東さんは姉妹2人で同居中。お互いのパソコンをダイヤルアップルーターでつないだら、部屋をまたいでイーサネットケーブルがゴヨロゴヨロ。フスマはきちんと閉まらず、ケーブルをひっかけて転んだことも数知れず。こんなドタバタも無線LANの導入で一安心（左ページ写真）。



1 エアステーションマネージャを起動し、「ファイル」メニューから「接続」を選択する。メモしておいたアクセスポイントのMACアドレスの下6桁の文字を入力して「OK」を押す。

2 暗号化のキーを尋ねられるが、初期状態では暗号化は設定されていないので、そのまま「OK」を押す。

3 アクセスポイントを検出したら、「管理」メニューから「IPアドレス設定」を選択する。「IPアドレスを自動的に取得」のチェックをはずし、IPアドレスとネットマスクに「192.168.0.1」と「255.255.255.0」を入力して「OK」を押す。

4 ブラウザーが起動して設定メニューが表示されるので、「目的別設定」を押す。

5 パスワードを求められるので、ユーザー名は「root」、パスワードは空欄のまま「OK」を押す。

6 「ISDN回線を使用してインターネットに接続する」を選択して、「次の設定へ」を押す。

7 接続先となるプロバイダーの電話番号、ユーザー名、パスワードを入力して、「設定」を押す。以上で設定は完了。

プロバイダーによっては、DNSサーバーのアドレスを手動で設定しなければならないことがある。その場合には、④の画面で「詳細設定」を押し、「接続先」のリンクをクリックして、「DNSアドレス」の欄を入力する。④の画面はブラウザのアドレス欄に「http://192.168.0.1/」と入力すればいつでも呼び出せる。

4

パソコンのIPアドレスの本設定

左ページの「2 パソコンの仮設定」と同じ手順で、TCP/IPのプロパティを開く。「IPアドレスを自動的に取得」を選択すれば設定完了。

以上でアクセスポイントの設定が終わったので、パソコンのIPアドレスをアクセスポイントから自動的に取得する設定に変更する。これですべての設定は完了となり、パソコンからウェブブラウザなどを使ってインターネットを参照しようとする、アクセスポイントが自動的にプロバイダーに接続するようになる。

2台目以降のパソコンの設定は？
2台目以降のパソコンの場合には、すでにアクセスポイントの設定が済んでいるため、本ページの「3 アクセスポイントの設定」の④以降の手順は不要となる。また、エアステーションマネージャには、設定ファイルの保存機能がある。これを使えば1台目で設定した情報をファイルに書き出し、2台目以降のパソコンに読みこませることができる。1台目のパソコンで、エアステーションマネージャの「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」でファイルとして保存する。これをフロッピーなどで2台目以降のパソコンにコピーして、エアステーションマネージャの「ファイル」メニューから「開く」で開けば、1台目と同じ設定になる。



CATVインターネットやADSLを使っているなら、AirStationの「CATV/xDSLモデル」が便利だ。ケーブルモデムやADSLモデムにアクセスポイントを接続するだけで、複数台のパソコンがワイヤレスで接続できるようになる。ブロードバンドの威力は、複数台のパソコンで使ったときにこそ発揮される。



AirStation (CATV/xDSLモデル)
WLAR-L11-L

CATV/ADSL
ユーザーの場合
CATV/xDSLモデル

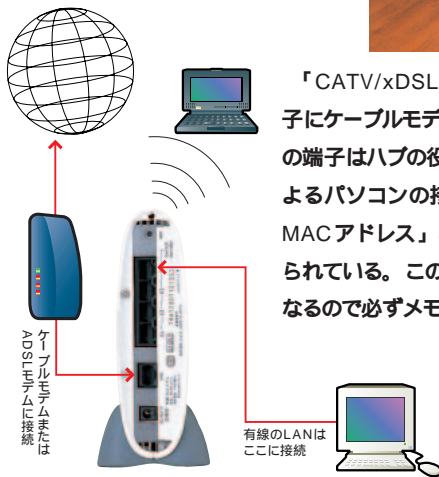
ワイヤレス でもっと便利になる ブロードバンド

1 アクセスポイントの配線

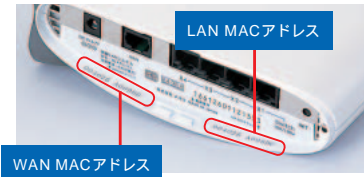
BEFORE



AFTER



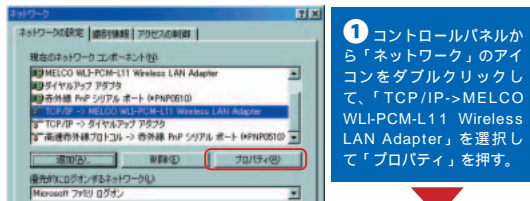
「CATV/xDSLモデル」の場合には、「WAN」と書かれた端子にケーブルモデムやADSLモデムを接続する。「X1」～「X4」の端子はハブの役目を果たし、通常のイーサネットケーブルによるパソコンの接続も可能だ。また、背面の脇には「WAN MACアドレス」と「LAN MACアドレス」の2つのシールが貼られている。このうち「LAN MACアドレス」が設定に必要となるので必ずメモしておこう。



2 パソコンのIPアドレスの仮設定

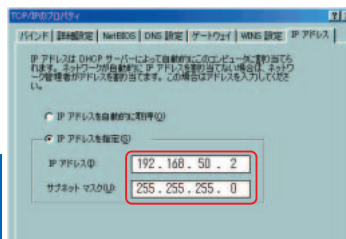
アクセスポイントの初期設定をパソコンから行うために、アクセスポイントとパソコンのIPアドレスを一時的に特定の値に固定する必要がある。ここでは、アクセスポイントを「192.168.50.1」、パソコンを「192.168.50.2」というIPアドレスに設定する例

を紹介する。CATVインターネットやADSLの場合には、プロバイダーから割り当てられるIPアドレスも「192.168.xx.xx」となる場合が多いので、無線LANで使うIPアドレスと重ならないように設定しよう。



1 コントロールパネルから「ネットワーク」のアイコンをダブルクリックして、「TCP/IP->MELCO WL-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」を選択して「プロパティ」を押す。

2 「IPアドレスを指定」を選択し、「IPアドレス」に「192.168.50.2」を、「サブネットマスク」に「255.255.255.0」を入力し「OK」を押す。



STEP 1 アクセスポイントの配線

アクセスポイントにケーブルモデムやADSLモデムを接続し、MACアドレスを確認しておく。

2 パソコンのIPアドレスの仮設定

無線LANカードをインストールしたパソコンのIPアドレスを設定する。アクセスポイントの設定はこのパソコンから行う。

3 アクセスポイントの設定

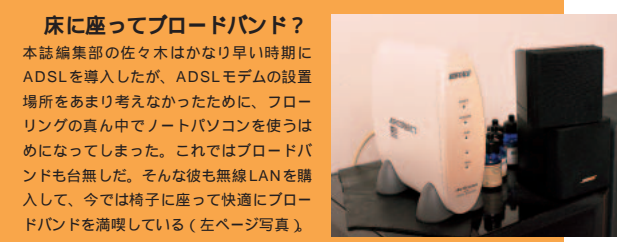
アクセスポイント本体のIPアドレスを設定する。

4 パソコンのIPアドレスの本設定

アクセスポイントを通じてインターネットに接続できるように、パソコンの設定を変更する。

3 アクセスポイントの設定

次に、アクセスポイントのIPアドレスを設定する。IPアドレスを変更するには、先にインストールしておいた「エアステーションマネージャ」を用いる(245ページ参照)。ここでは無線LANから設定する方法を説明するが、イーサネットで接続されたパソコン(有線LAN)からも設定できる。



床に座ってブロードバンド?

本誌編集部佐々木はかなり早い時期にADSLを導入したが、ADSLモデムの設置場所をあまり考えなかったために、フローリングの真ん中でノートパソコンを使うようになってしまった。これではブロードバンドも台無しだ。そんな彼も無線LANを購入して、今では椅子に座って快適にブロードバンドを満喫している(左ページ写真)。

- 1 エアステーションマネージャを起動し、「ファイル」メニューから「接続」を選択する。メモしておいたアクセスポイントのMACアドレスの下6桁の文字を入力して「OK」を押す。
- 2 暗号化のキーを尋ねられるが、初期状態では暗号化は設定されていないので、そのまま「OK」を押す。
- 3 アクセスポイントを検出したら、「管理」メニューから「IPアドレス設定」を選択する。「IPアドレスを自動的に取得」のチェックをはずし、IPアドレスとネットマスクに「192.168.50.1」と「255.255.255.0」を入力して「OK」を押す。
- 4 ブラウザーが起動して設定メニューが表示されるので、「簡易設定」を押す。
- 5 パスワードを求められるので、ユーザー名は「root」、パスワードは空欄のまま「OK」を押す。
- 6 IPアドレスの設定をする。プロバイダーによって設定項目が異なるので注意。プロバイダーからIPアドレスの設定を指定されていないときには、「DHCPサーバからIPアドレスを自動取得」を選ぶだけだ。IPアドレスが指定されているときには「手動設定」を選択し、指定されたIPアドレスとネットマスクを入力する。また、「デフォルトゲートウェイアドレス」、「DNSアドレス」にも指定されたものを入力する。
- 7 IPアドレスの自動割り当て機能を「LAN側に使用する」を選択し、「割当てアドレス」に「192.168.

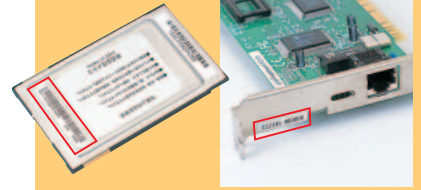
4 パソコンのIPアドレスの本設定

以上でアクセスポイントの設定が終わったので、パソコンのIPアドレスをアクセスポイントから自動的に取得する設定に変更する。これですべての設定は完了。CATVインターネットやADSLの高速回線が無線LAN経由で使えるようになる。

左ページの「2 パソコンのIPアドレスの仮設定」と同じ手順で、TCP/IPのプロパティを開く。「IPアドレスを自動的に取得」を選択すれば設定完了。

2台目以降のパソコンの設定は？
2台目以降の複数のパソコンを設定する場合には、本ページの「3 アクセスポイントの設定」の④～⑦を除く手順の繰り返しとなる。
ただし、一部のCATVインターネットではルーターを利用した複数台接続は、規約で禁止されている。追加料金を払えば接続台数を増やせる場合には、次ページから紹介する「標準モデル」が利用できるかどうかをCATV局に問い合わせよう。

CATVに登録したMACアドレスを変更するには



CATVインターネットの中には、あらかじめ申請したMACアドレスのLANカードでなければ接続できない業者も多い。この場合は、アクセスポイントの「WAN MACアドレス」(前ページ参照)をCATV局に申請しなそう。以前に申請したMACアドレスを忘れてしまったときには、これまで使ってきたネットワークカードに張られているシールなどを確認する。

ダイヤルアップルーターなどを使っている人は、AirStationの「標準モデル」を使えば無線LANを導入できる。すでに有線のLANを組んでいる場合でも、ノートパソコンだけは無線LANにするといい、有線LANと無線LANの同時使用が可能だ。

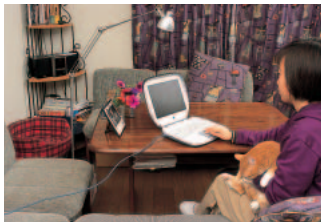


AirStation (標準モデル)
WLA-L11

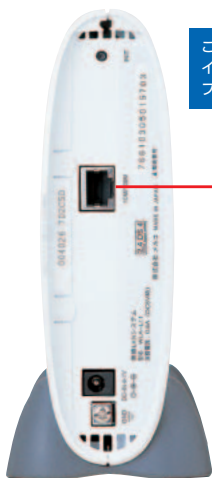
すでにルーターを
持っている場合
標準モデル

1 アクセスポイントの配線

BEFORE



AFTER



この端子とハブを
イーサネットケー
ブルで接続する

AirStationの「標準モデル」は、ダイヤルアップルーターなどのネットワーク機器がすでにある人向けのモデルだ。したがって、背面にはイーサネットの端子が1つあるだけで、これとダイヤルアップルーターまたはハブをつなげば配線は完了する。

また、アクセスポイントの背面にはMACアドレスが書かれたシールが貼ってある。あとで設定する際に必要になるので、メモをとっておこう。シールは2種類あるが、「1234567890AB」といった12個の文字が書いてあるほうがMACアドレスだ。



今あるLANを ワイヤレス対応に

STEP

① アクセスポイントの配線

無線LANのアクセスポイントを、有線LANのハブにつなぐ。このとき、アクセスポイントのMACアドレスを確認しておくのを忘れずに。

② 無線LANを使うパソコンのIPアドレスの設定

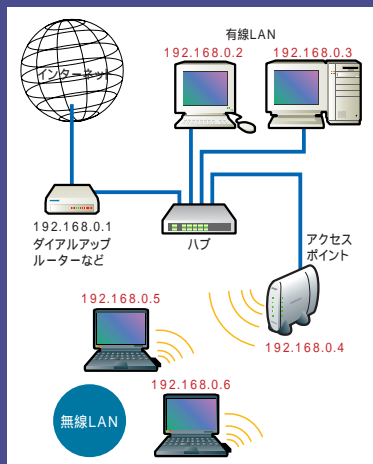
無線LANカードをインストールしたパソコンのIPアドレスを設定する。アクセスポイントの設定はこのパソコンから行う。

③ アクセスポイントの設定

アクセスポイント本体のIPアドレスを設定する。

標準モデルのIPアドレスの割り当て方

標準モデルについて補足説明をしておく、標準モデルのアクセスポイントは、有線LANと無線LANを中継するハブのような働きをする機器でしかない。DHCP機能などは、ダイヤルアップルーターなどの別の機器のものを利用する形になる。したがって、無線LAN側のパソコンも、有線のLANと同じ範囲のIPアドレスが割り当てられることになる(右図参照)。ただし、アクセスポイントはハブとは違い、それ自体もIPアドレスを1つ持つ。このため、CATVインターネットの場合にはアクセスポイントも「1台」として数えられてしまうので、追加料金が必要なこともある。

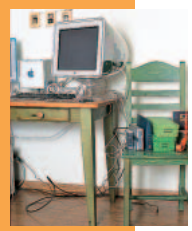
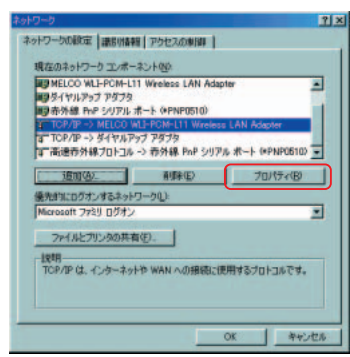


2 無線LANを使うパソコンのIPアドレスの設定

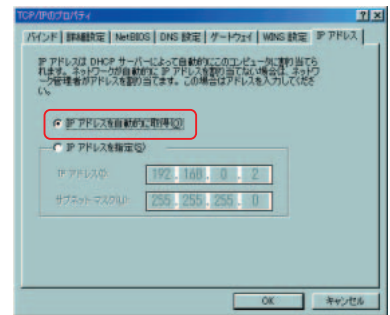
無線LANを使うパソコンのIPアドレスを設定する。といっても、普通に無線LANカードをインストールするだけで、下で示すような状態に設定されるはずだ。有線のLANにダイヤルアップルーターなどのDHCP機能を持った機器が繋がっている場合には、このままの設定で問題ない。

ワイヤレスでネコも大喜び

杉並区の坂井さんは、CATVインターネットの導入を機に家庭内LANの構築に取りかかった。しかし、ここで問題になったのが3匹のネコたち。家の中を這い回るケーブルがお気に召さないらしく、テーブルにノートパソコンを広げると逃げ出そうとする始末。そこでたまたま無線LANを購入。やっかいなケーブルも消えて、ネコとの信頼関係も修復。愛するネコのためなら安いもの、と語る坂井さん。撮影中もずっとネコを抱いたままパソコンに向かっていました。

1 コントロールパネルから「ネットワーク」のアイコンをダブルクリックして、「TCP/IP->MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」を選択して「プロパティ」を押す。



2 「IPアドレスを自動的に取得」を選択する。すでにこの設定になっている

有線のLANがDHCPではなく手動でIPアドレスを設定している場合には、「IPアドレスを指定」を選んで、IPアドレスを直接入力する。IPアドレスは、有線のLANと同じ範囲内（上位3つの数字が同じアドレス）で、他のパソコンと重複しないものを指定する。



3 アクセスポイントの設定

アクセスポイントのIPアドレスを設定する。IPアドレスの変更には、先にインストールしておいた「エアステーションマネージャ」を用いる（245ページ参照）。

1 エアステーションマネージャを起動し、「ファイル」メニューから「接続」を選択する。メモしてあったアクセスポイントのMACアドレスの下6桁の文字を入力して「OK」を押す。

3 アクセスポイントを検出したら、「管理」メニューから「IPアドレス設定」を選択する。「IPアドレスを自動的に取得」にチェック

有線のLANがDHCPを使っていない場合には、アクセスポイントで使用するIPアドレスをここで入力する。有線のLANと同じ範囲内で、他のパソコンと重複しないIPアドレスを指定しよう。

2 暗号化のキーを尋ねられるが、初期状態では暗号化は設定されていないので、そのまま「OK」を押す。



4 ブラウザーが起動して設定メニューが表示されるが、これ以上は設定することがないので

ここでページが表示されずにエラーとなった場合は、しばらくしてからページをリロードしてみよう。それでも表示されなければ、有線LANのDHCPが正しく機能しているかを確認しよう。

アクセスポイントの設定は必要ない？

標準モデルの場合には、このページで説明している「3 アクセスポイントの設定」の部分の設定をしなくても、実は動作してしまう。アクセスポイントは電源を入れた段階で、すでに有線LANと無線LANの中継するように設定されているからだ。ただし、アクセスポイントのIPアドレスは初期状態では「1.1.1.1」になっているので、そのままではアクセスポイントの設定をするページにアクセスできない。後述するように、アクセスポイントはセキュリティ対策などの設定をするのが望ましいので、上記3の手順を必ず行っておこう。

2台目以降のパソコンの設定は？

2台目以降のパソコンの場合には、すでにアクセスポイントの設定が済んでいるため、ほとんど設定する項目はない。具体的には、244ページで説明した無線LANカードのデバイスドライバのインストールとエアステーションマネージャをインストールして、本ページの「3 アクセスポイントの設定」の手順①を実行すればよい。ただし、DHCP機能を使わない場合には「2 無線LANを使うパソコンのIPアドレスの設定」で、IPアドレスを手動で指定する必要がある。

マッキントッシュの場合

AirMacカード

AirMacでマッキントッシュとウィンドウズのLANを作る

STEP

① AirMacカードの取り付け

AirMacカードを本体に取り付ける。

② アクセスポイントのチャンネルの変更

利用する無線チャンネルをAirMacで使えるチャンネルに変更する。

③ AirMacの設定

AirMacの設定をして、AirStationのアクセスポイントに接続できるようにする。

無線LANは、ウィンドウズとマッキントッシュが混在している場合でも大丈夫。マッキントッシュ用の無線LANアダプター「AirMac」は業界標準のIEEE802.11bに準拠しているので、他のメーカーの無線LANと組み合わせて使えるからだ。ここでは、AirMacとメルコのAirStationとを接続する方法を説明する。



AirMacカードの取り付け

iMacの場合

iMacの場合には、背面にあるネジをコインで回すと、AirMacカードの取り付け口がある。取り付けの際には、iMacのディスプレイ面を下にして作業することになるので、下には座布団などの柔らかいものを敷いておこう。

カードの取り付けには、AirMacカードに付属する「カードコネクタ」と呼ばれる器具を使う。AirMacカードは通常のPCカードとは違い、取り付け口にある専用のケーブルをAirMacカードの端子に接続する。

AirMacカード。iMacに取り付ける場合は、付属の「カードコネクタ」と組み合わせて使う。



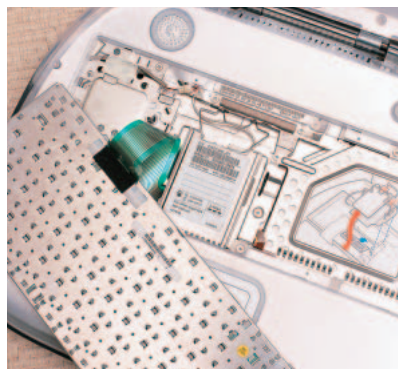
iMacにAirMacカードを取り付けているところ。iMacをひっくり返さないで作業できないので、結構な力仕事になる。



iBookの場合

iBookの場合、キーボードをいったん取り外し、AirMacカードをキーボードの下に入れる。AirMacカードにはカードコネクタが付いているが、iBookの場合にはカードコネクタは外して、カードだけを本体に取り付ける。

取り付けの際にはiBookの電源を切り、キーボードロックを手前に引きながらキーボードを取り外す。キーボードロックは「esc」と「F1」の間と、「F8」と「F9」の間にある。キーボードを外したら、中にある金属レバーを手前に起こし、AirMacカードにアンテナを装着して、そのままAirMacカードを奥まで滑べらせる。奥まで差し込んだら、金



iBookにAirMacカードを取り付ける例。キーボードを取り外す際、引っ張りすぎるとコネクタが切れてしまうこともあるので、ゆっくりと注意しながら作業しよう。

属レバーでAirMacカードを固定して、キーボードを元に戻せば取り付けは完了だ。

AirMacが使える機種

AirMacカードが使えるのは、新しいマッキントッシュに限られる。AirMacの対応機種は、iMac、iBook、PowerBook、Power Mac G4 (Cubeも含む)だが、iBook以外は古い機種ではAirMacには対応しない。iMac... 1999年10月以降に発売された、CD-ROMが

スロットインタイプのモデル
PowerBook... 2000年2月以降に発売された、FireWireコネクタを搭載したモデル
Power Mac G4... 1999年12月以降に発売された、AGPグラフィックカードを搭載したモデル

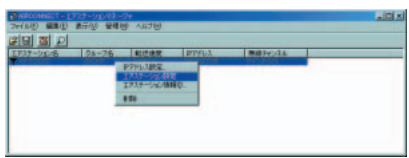
2

無線LANで利用するチャンネルの変更

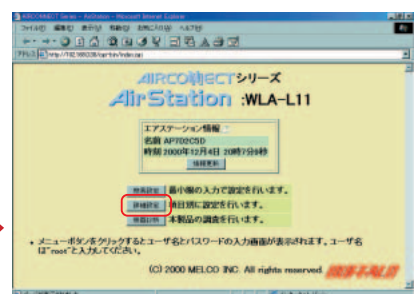
現在、無線LANの標準となっているIEEE802.11bでは、チャンネル1から14までの14チャンネルが利用できる。メルコのAirStationでは初期状態でチャンネル14が設定されているが、AirMacは1チャンネルから13チャンネルまでしかサポートしていないので、使用するチャンネルを変更する必要がある。

ただし、AirStationの付属ソフト「エアステーションマネージャ」にはウィンドウズ版しかないため、こうした設定はウィンドウズマシンから行うことになる。

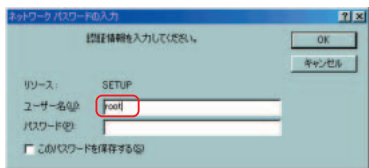
ここでは、チャンネルの変更方法だけを解説する。アクセスポイントのIPアドレスなどの設定については、246～251ページで各モデルごとに説明しているので、そちらを参照のこと。



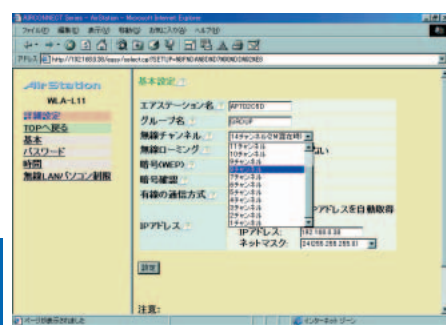
1 エアステーションマネージャを起動し、右クリックで「エアステーションマネージャ」を起動する。



2 ブラウザで設定のページが表示されるので、「詳細設定」を押す。



3 パスワードが尋ねられるので、「ユーザー名」に「root」と入力して「OK」を押す（パスワードの欄は空欄のまま）。



4 「無線チャンネル」の欄で、14以外のチャンネルを選択して「設定」。

3

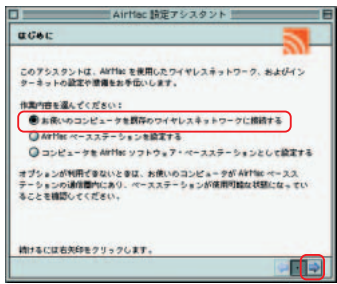
AirMacの設定

アクセスポイントの設定が終わったら、マッキントッシュでAirMacの設定をして、AirStationに接続できるようにする。

マッキントッシュでAirStationを設定するには？
AirStationはWindows用のソフトしか提供していないため、マッキントッシュから直接アクセスポイントの設定を変更することはできない。ただし、アクセスポイントのIPアドレスの設定が終わってしまえば、あとは設定はブラウザから行えるので、マッキントッシュでもブラウザがインストールされていれば、ウィンドウズと同じように設定できる。設定のページを表示するには、ブラウザのアドレス欄に「http://192.168.0.1/」のように、アクセスポイントに設定したIPアドレスを入力する。



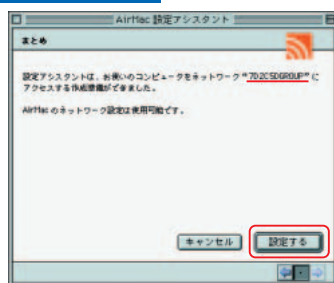
1 AirMacに付属のCD-ROMから「AirMacインストーラ」を実行し、「AirMacソフトウェア」をインストールする。



3 「お使いのコンピュータを既存のワイヤレスネットワークに接続する」を選択し、右矢印をクリックする。

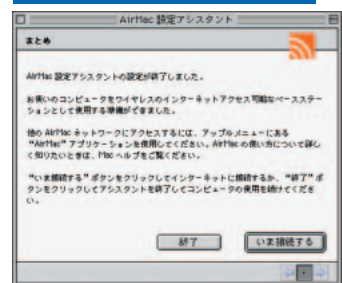


2 AirMacのインストールが完了すると「アシスタント」フォルダーに「AirMac設定アシスタント」のアイコンが表示されるので、それをダブル



4 アクセスポイントが見つかるので、「設定する」を押す。

5 以上で設定完了。「終了」を押す。ちなみに、このとき、「いま接続する」を押すと、動作を確認するため、アップル社のホームページが開かれる。



セキュリティ対策

無線LANは電波を使って通信するため、通信内容を盗聴される危険性がある。また、誰かが勝手に無線LANを近隣で使うと、無線LANを通じて家のパソコンに侵入され、ファイルが盗み見られたり、改ざんされたりしてしまうこともある。無線LANのセキュリティについて考えてみよう。

WEPを使った暗号化で盗聴を防止

盗聴の防止にはデータの暗号化が有効だ。無線LANの規格では、「WEP」(Wired Equivalent Privacy)という仕組みが用意されていて、この機能で通信を暗号化できる。

暗号化設定を有効にするには、暗号化のキーを指定する。本記事で紹介しているメルコのAirStationでは、5文字のWEPのキーを指定することで暗号化して通信できるようになっている。

暗号化通信を有効にした場合、WEPのキーを知らないユーザーは無線LANに接続できない。もちろん、電波を盗聴して解読するようなこともできない。

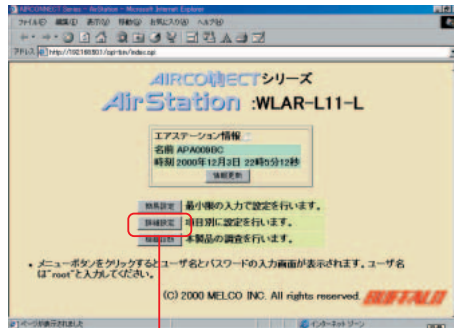
ちなみに暗号化の方式は決まっているものの、細かい部分が若干異なることがあり、同じIEEE802.11bに対応している製品でも互換性がないことがある。たとえば、AirStationとAirMacとでは暗号化の方式が異なるため、暗号化通信はできない。

無断接続の防止

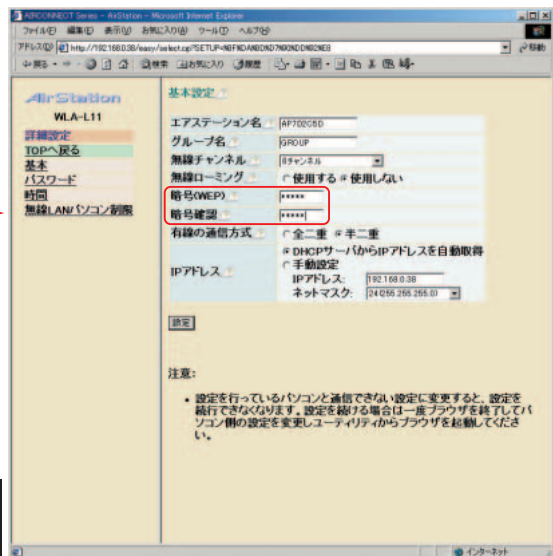
無線LANはケーブルがないため、自宅にあるアクセスポイントを経由して近隣の人が勝手にLANにアクセスしてしまう可能性がある。そこで無線LANのアクセスポイントには、あらかじめ登録した無線LANカードからしか接続できないようにする機能が付いている。

接続の制限は、無線LANカードに記されたMACアドレスを使う。制限を課した場合、アクセスポイントに登録したアドレス以外のMACアドレスを持つ無線LANカードからの接続はできなくなる。

暗号化設定

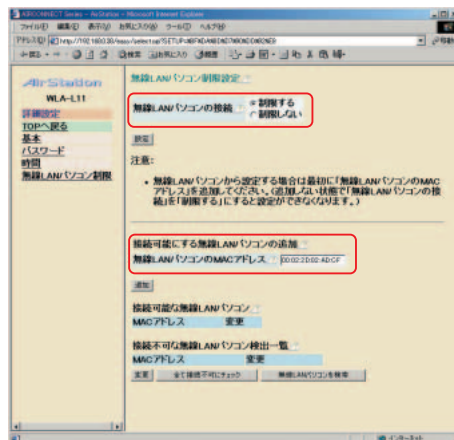


AirStationの管理画面で、「詳細設定」を選ぶ。



「基本設定」で、暗号(WEP)と暗号確認に、パスワードを設定すれば暗号化できる。

接続の制限



「無線LANパソコンの制限設定」で、「無線LANパソコンの接続」を制限するように設定し、無線LANカードのMACアドレスを登録する。2台目以降も同様にして登録すればいい(最大256個まで)。



MACアドレスは無線LANカードの裏面に記されている。

高速が魅力の

IEEE 802.11bと最新規格

無線接続技術には、実にいろいろな種類があり、いくつもの規格が存在している。その中でも無線LANシステムに採用されているIEEE802.11bは特に優位性が高く注目されている。その理由とは一体何だろうか。また、次期無線技術のBluetoothと比較した場合にも優位なのだろうか。

無線と言えば802.11bの理由

無線技術の中で電波を使用するものは、周波数帯や変調方式などに違いがある。2.4GHzを使うものでも、2種類のスペクトラム拡散方式が存在する。これは、元の信号を広帯域に拡散して秘匿性を高める通信を実現するもので、DS方式（直接拡散）とFH方式（周波数ホッピング）がある。もともとのIEEE802.11にはこれらの方式が混在していたが、互換性と高速化を目指すた

主な無線通信

	IEEE802.11b	PHS (PIAFS)	Bluetooth
周波数帯	2.4GHz	1.9GHz	2.4GHz
通信速度	11Mbps	64kbps	1Mbps
通信距離（標準）	100m	100m	10m
拡張性（予定）	~ 22Mbps	~ 128kbps	~ 10Mbps
通信方式	DS-SS	(TDMA)	FH-SS

めにDS方式に絞り込んだのが802.11bだ。

すでにある技術を拡張するのだから、製品開発コストも低く抑えられ、汎用性も高まる。通信速度に対するコストパフォーマンスの点で、802.11bは優位なのだ。

22Mbps高速通信の802.11gがやってくる

IEEE802.11を拡張してできたのが、5MHz帯を使う802.11aだったり、今回特集する802.11bだったりする。このaとかbとかというのは、その標準化を行うプロジェクトのタスクグループ名だ。現在は新しいプロジェクトとして「d」「e」「f」「g」が存在している。

プロジェクトIEEE802.11eでは、QoS機能やセキュリティー機能の拡張を行っている。QoSとは、ある特定の通信のために帯

域を確保し、その通信速度、すなわち伝送品質を保证するもので、テレビ会議システムやストリーミング配信に用いられる。

もっとも新しいIEEE802.11gでは、IEEE802.11bの通信速度を向上させる目的を持ち、先ごろのセッションで現状の11Mbpsから22Mbpsという具体的な数字が確定された。



Bluetooth Spec.1.0B規格に対応した東芝の「Bluetoothワイヤレスモデムステーション」にアクセスポイント1台とPCカード2枚が付属して店頭価格54,600円。

普及に課題を残すBluetooth

いまもっともホットな無線技術と言えば、それは紛れもなくBluetooth（ブルートゥース）のことだろう。10m程度の距離にある機器同士を、特別な操作なく直接つなぐ（アドホック接続してしまう）この技術は、PAN（Personal Area Network）という概念を具体化するものだ。

Bluetoothは、推進企業を中心とするBluetoothSIGのみならず、IEEE802.15で

も標準化が進み、その普及に大きな期待が持たれている。しかし、すでに一部のメーカーで製品が発売されているにもかかわらず、市場には活気が見られない。その理由として、目標として掲げたチップサイズと低コストを達成できず製品価格が高めなこと、通信速度に対する評価が低いことが挙げられる。本格的な普及は2001年に行われるVer2.0の策定以降となりそうだ。



インターネットにも接続できるアクシスコミュニケーションズの「AXIS 9010 Bluetooth Access Point」は、2001年第1四半期発売予定。

データを共有しよう

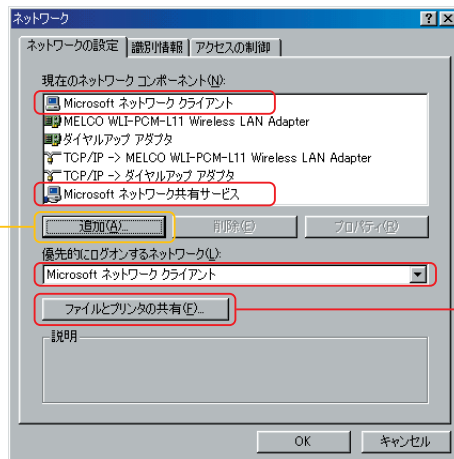
パソコンが複数台あるなら無線を使ってLANを構築しよう。ファイルをコピーしたり、別のパソコンに接続されたプリンターから印刷したりできるようになる。ここではファイル共有やプリンター共有の方法を詳しく説明する。

共有サービスとクライアントのインストール

ファイルやプリンターを共有するには、パソコンに「Microsoft ネットワーク共有サービス」と「Microsoft ネットワーククライアント」の2つをインストールする必要がある。

「ネットワーク」のプロパティを参照し、この2つが含まれていなければ、あらかじめインストールしておく。

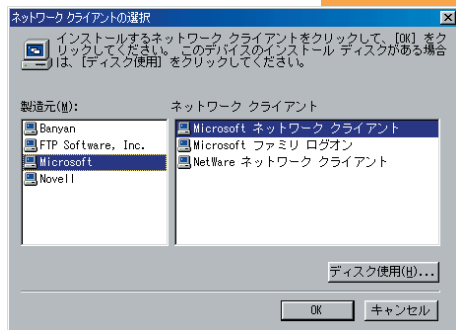
- 1 「スタート」メニューから「設定」 - 「コントロールパネル」を開き、「ネットワ



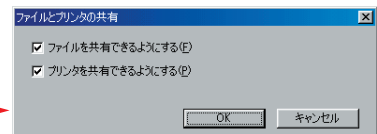
- 2 「ネットワークの設定」に「Microsoft ネットワーク共有サービス」と「Microsoft ネットワーククライアント」があることを確認し、「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーククライアント」となっていることを確認する。

「Microsoft ネットワーククライアント」と「Microsoft ネットワーク共有サービス」がない場合

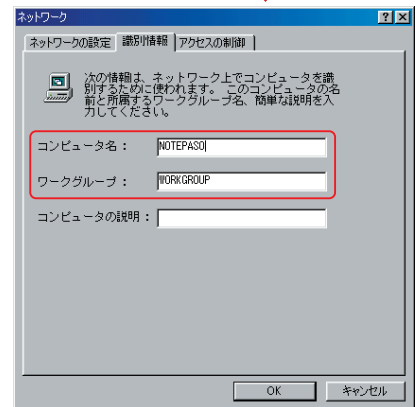
- 1 「追加」を押して「クライアント」が「サービス」を選択し、「追加」ボタンを押す。



- 2 「製造元」で「Microsoft」を選択し、「ネットワーククライアント」で「Microsoft ネットワーククライアント」か「Microsoft ネットワーク共有サービス」を選択して「OK」を押す。



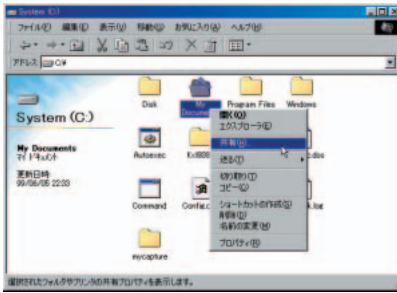
- 3 「ファイルとプリンタの共有」を押し、「ファイル共有できるようにする」と「プリンタを共有できるようにする」にチェックが付いていることを確認する。



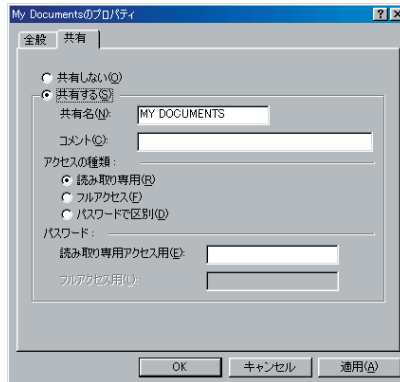
- 4 「識別情報」タブで、「コンピュータ名」と「ワークグループ」を指定する。「コンピュータ名」は好きな名前を、「ワークグループ」は、ネットワークにつながった全パソコンで必ず同じ名前（ここでは「WORKGROUP」とした）を付ける。「OK」を押して再起動すれば設定が完了した。

ファイルを共有しよう

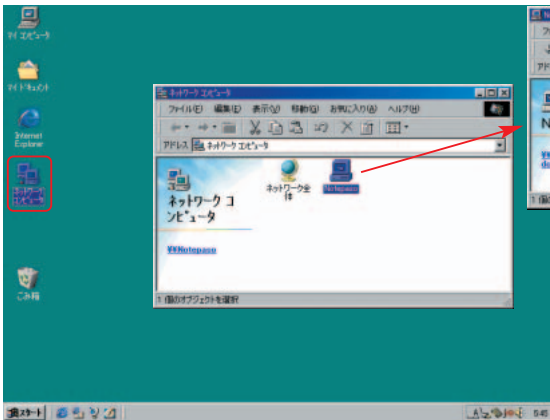
ファイルの共有はきわめて簡単だ。次の設定に従って操作を進めると、自分のコンピュータにあるファイルやフォルダーがほかのパソコンから簡単に見られるようになる。まずは試してみよう。



1 マイコンピュータやエクスプローラなどから、LAN上に公開したいドライブやフォルダーを右クリックし、「共有」メニューを選択する。



2 共有のプロパティが表示されるので、「共有する」を選択する。このとき、「アクセスの種類」のところで、読み取り専用にするのか、フルアクセス（ほかのマシンからどんな操作もできる）するのかが設定できる。パスワードを設定すれば、アクセスの制限もできる。



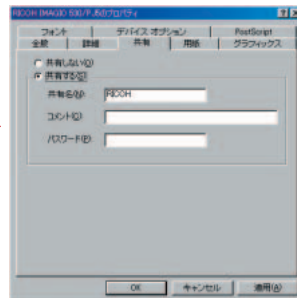
3 デスクトップにある「ネットワークコンピュータ」のアイコンをダブルクリックすれば（Windows 2000やWindows Meの場合には「マイネットワーク」）、共有が許可されたドライブやフォルダーを一覧で表示できる。参照したいパソコンのアイコンをダブルクリックすると共有設定されたフォルダーが見え、ドラッグ&ドロップでファイルをコピーできる。

プリンターを共有しよう

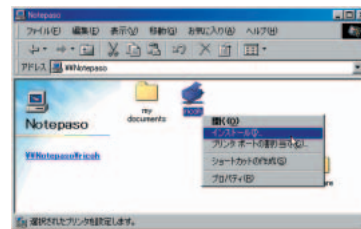
パソコンは数台を使い分けたい人が多いが、プリンターは1台だけということが多いただろう。そんなときは、ファイル同様にプリンターも共有するといい。



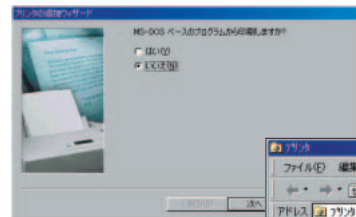
1 「マイコンピュータ」の「プリンタ」から別のパソコンでも使わせたいプリンターを右クリックし、「共有」メニューを選択する。



2 プリンターのプロパティ画面で「共有する」を選択し、利用を制限するにはパスワードを設定する。

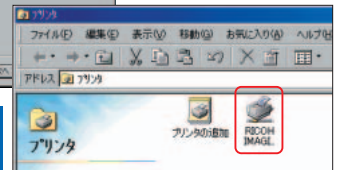


3 共有設定したプリンターを使いたいときには、「ネットワークコンピュータ」で使いたいプリンタ



4 プリンタードライバのインストールが始まる。

5 「マイコンピュータ」・「プリンタ」に登録されればOKだ。



ウィンドウズと マッキントッシュの LAN

データを共有しよう

同じLANにウィンドウズとマッキントッシュとを接続した場合、その両方でファイル共有したいこともあるだろう。ここでは、ウィンドウズとマッキントッシュとでファイルを共有する方法について説明する。

DAVEでファイルを共有しよう

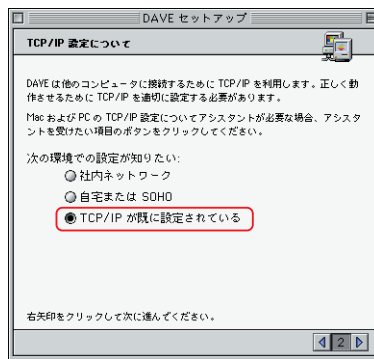
残念ながら、ウィンドウズとマッキントッシュとでは、ファイルを共有する方式が異なるため、そのままの状態ではファイルの共有ができず、何らかのソフトが必要となる。

ここでは、マッキントッシュにインストールすることでウィンドウズマシンとファイル共有ができる「DAVE」というソフトを用いた方法について説明する。

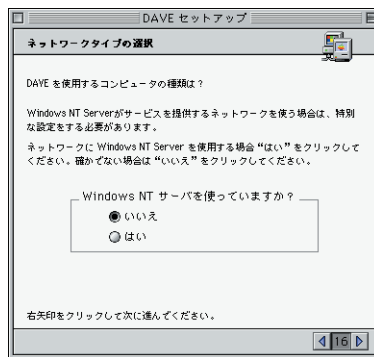
DAVE
メディアビジョン
標準価格：24,800円



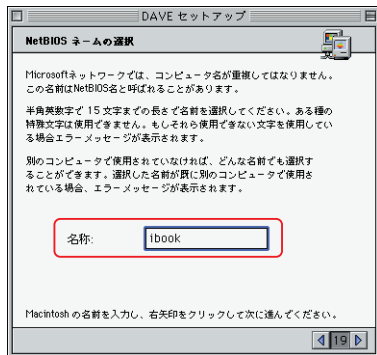
体験版
CD-ROM[B] Trial Mac DAVE



1 CD-ROMを入れ、DAVEをインストールする。セットアップ画面で「TCP/IPが既に設定」

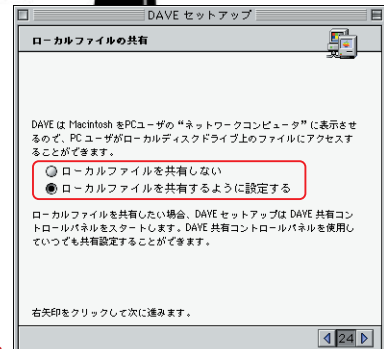
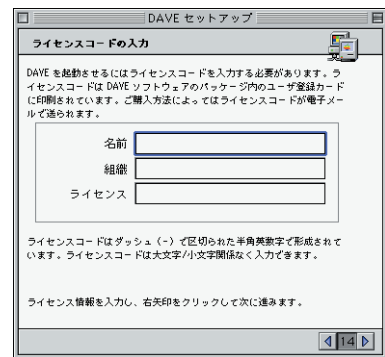


3 LANにウィンドウズNTサーバーやウィンドウズ2000サーバーがあるときには「はい」、そうでなければ「いいえ」を選択する。



4 マッキントッシュの名前（ウィンドウズマシンから見える「コンピュータ名」とこの次の画面でウィンドウズのネットワークの「識別情報」で設定している「ワークグループ」で設定している）を入力する。

2 製品パッケージに記載されているライセンスコードを入力する。



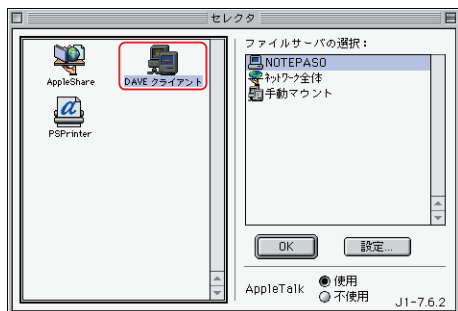
5 マッキントッシュの中のフォルダーにウィンドウズマシンでアクセスしたいのであれば、「ローカルファイルを共有するように設定する」を選択する。これで設定が終わり、再起動すればDAVEが動き出す。

マッキントッシュからウィンドウズを参照する

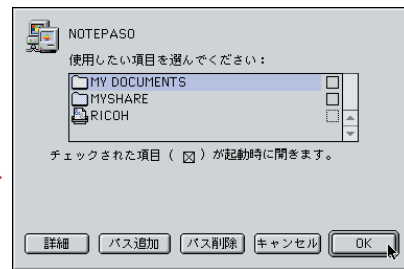
DAVEをインストールできたなら、さっそくマッキントッシュからウィンドウズのマシンにある共有フォルダーを参照しよう。



1 「アップル」メニューから「セレクト」を選択する。



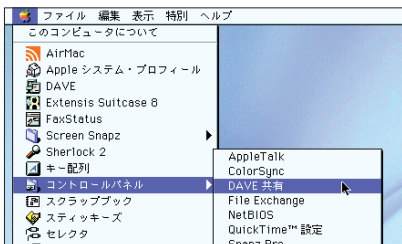
2 セレクトの画面に「DAVEクライアント」のアイコンがあるので、クリックする。



3 「ファイルサーバの選択」にウィンドウズマシンの一覧が表示されるので、参照したいパソコンをクリックし、「OK」を押すと、公開されているフォルダーの一覧が表示される。利用したいフォルダーを選択して「OK」を押せば利用できるようになる。

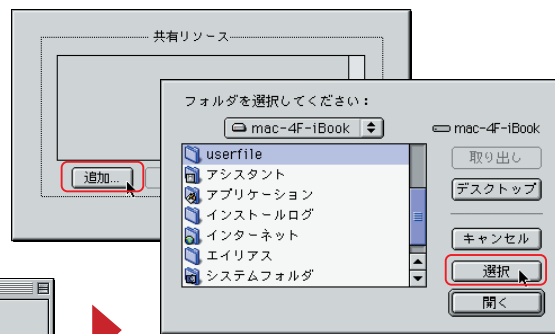
ウィンドウズからマッキントッシュを参照する

ウィンドウズからマッキントッシュのフォルダーを参照したいときには、あらかじめマッキントッシュ側で公開したいフォルダーを共有設定しておく。

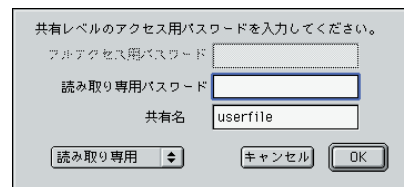


1 「アップル」メニューから「コントロールパネル」・「DAVE共有」を選択する。

2 DAVEの設定画面が表示されるので、「ファイルと印刷サービス」を「On」に設定する。



3 「共有」を押して、共有リソース画面で「追加」を押し、公開したいフォルダーを選択する。

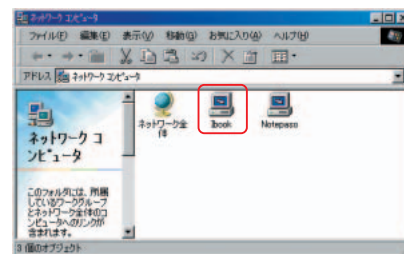
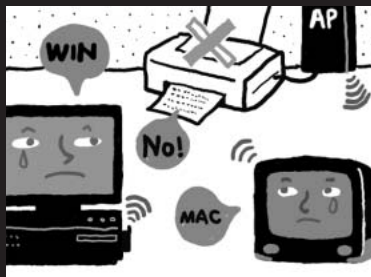


4 アクセス方法やパスワードを設定する。

プリンターの共有には注意！

原理的には、ウィンドウズとマッキントッシュの間で、フォルダーだけでなく、プリンターも共有できる。しかし、ウィンドウズとマッキントッシュではプリンタードライバーが異なるため、ポストスクリプトプリンターをはじめとするウィンドウズでもマッキントッシュでも同じ制御コードで印刷できるプリンターでないと、正しく印刷できない。家庭でよく

使われているインクジェットプリンターだと、両方に対応しているものは少ないので、注意したい。



5 ウィンドウズ側からは、マッキントッシュもウィンドウズマシンのように見え、コンピュータのアイコンをダブルクリックして開けば、DAVEで共有設定されたフォルダーを参照できる。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp